

消費者志向自主宣言・フォローアップ

令和2年3月11日

徳島合同証券株式会社

代表取締役社長 泊 健一

(1) 理念

直接金融を通じて人々の生活の向上を支える企業を応援する

(2) 取り組み方針

① トップのコミットメント

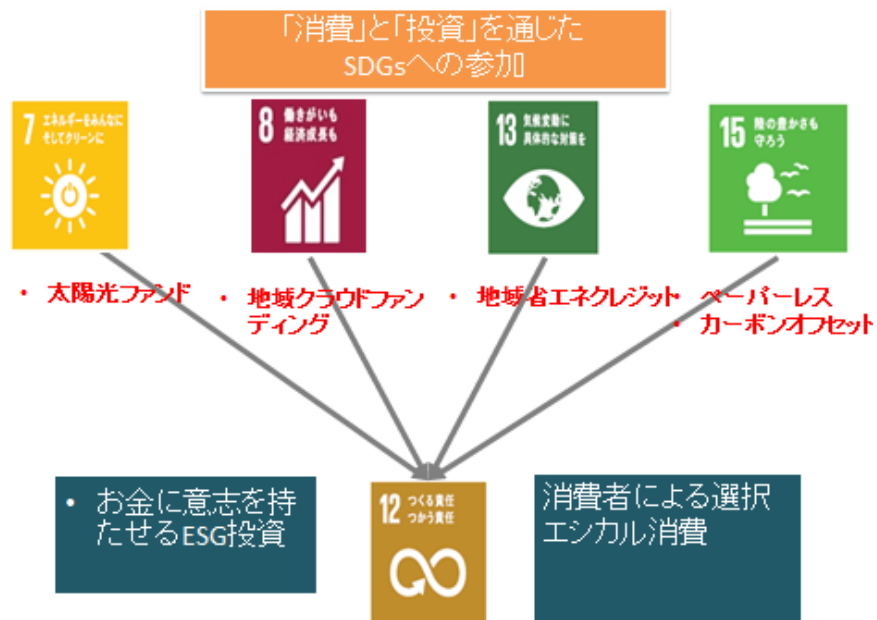
日本株式による長期投資を通じお客様の安定した資産形成を徳島に広めます。また徳島の豊かな社会や環境をつくる企業や取り組みを応援することをクラウドファンディング等様々な手法で実現し続けます。

また日本株式の取り扱い1件当たり2kg、クラウドファンディング成立1件当たり2tのカーボンオフセットを行い、徳島の森林の整備につなげます。

2012年～2020年2月フォローアップ活動取組成果

日本株式の長期投資による資産形成の徳島での普及推進

毎週1回四国放送ラジオ放送出演、四半期一回程度経済団体セミナー講師等を通じ金融教育（なくなつてはならない企業を個人で十分吟味選択し市場暴落時に投資をスタートする。複利で運用する等投資運用実践の基本の普及啓発）の実施



生活消費者投資とは

- 100年間世界の株式市場は平均10%の値上がり(50%の暴落したときも含め)をしている。一日16万人ずつ世界の人口は増える。(100年間平均4%成長を続けている。)
- 日常生活でお世話になっている(消費する商品を提供している)企業のみ暴落時のみ応援する。

取り組み実績

平成24年より累計2、556 t (ユニバーサルスタジオジャパン5個分の面積の森林保全)のカーボンオフセット

脱炭素社会の実現に向けた気候変動対策推進条例
～低炭素社会から「脱炭素社会」へ、新たな羅針盤～

2030年度温室効果ガス削減目標

国		徳島県	
2013年度比	▲26.0%	2013年度比	▲40.0%
〔排出抑制〕	約▲23.4%	〔排出抑制〕	約▲26.4%
〔吸収量〕	約▲2.6%	〔吸収量〕	約▲13.6%

※ 本県の「削減努力」

「民生部門」の対策強化を中心に、国より踏み込んだ対策を上乗せ

- ⇒ ・家庭、事業所における省エネ行動の推進
・住宅、建築物の省エネ対策の促進
・太陽光発電の導入促進 等

※ 本県の「吸収努力」

間伐等によって整備された面積(森林経営面積)の拡大

- ⇒ ・人工造林、間伐等の森林整備・保全の推進

当社のカーボンオフセット 取り扱い実績



- 24年度 94t
- 25年度 58t
- 26年度 32t
- 27年度 552t
- 28年度 649t
- 29年度 601t
- 30年度 570t
- 合計 2,556t
- ユニバーサルスタジオジャパン5個分の森林の
保全をお手伝い(西日本トップクラス)

平成29年4月22日
とくしまエコパートナーシップ協定締結



②コーポレートガバナンスの確保

当社の企業統治の考え方は社員とともに経営や人生のあるべき姿を学べる京セラフィロソフィーを基にしております。素晴らしい経営や人生を送るためには哲学が必要です。人として何が正しいかを常に問いながら地場証券として責務を全うしてまいります。

2018年1月～2020年2月フォローアップ活動、取組、成果

毎日の朝礼は輪番制で「人として何が正しいか等」哲学の共有を行った。またテレビ会議システムを活用し本店、小松島営業所間で同時進行が可能となった。

役員含めすべての社員の予定行動等がKINTONEを活用することにより、社内での情報共有が可能となった。

③従業員の積極的活動

投資対象選択の際には全社員が同じ価値観のもと従来の投資判断基準に加え、環境を考慮し、社会性を持ち、企業統治ができている企業を応援するESG投資に取り組みます。

2012年1月～2020年2月フォローアップ活動、取組、成果

全社員が自分自身で確定拠出型企業年金制度DC（一部会社負担）に参加し、日本株式の長期投資による資産形成を実感し始めた。

全社をあげて日本株式の長期投資の手法による資産形成をすすめることにより当社のKPI（運用損益別の顧客比率）をすこしでも高めようと取り組んでいる。

ペーパーレスを導入することにより環境に良いことは経済合理性があることを全社で体感した。本店に7tあった紙を3.5tまで削減。コピーファックスの使用を控え、ダブルモニター等を活用。

環境に良いことは経済合理性もある

2つのE エコロジーとエコノミー

- コピー、ファックスは激減(ダブルモニター)
- スペースも空き賃料も低下(ペーパーレスストレッチ)
- 1年間で700万円のコストダウン
- 個人情報管理も容易に
- 従業員のコスト意識が変わる
- 黒字が定着



④消費者への情報提供の充実、双方向の情報交換

企業としての社会的な存在価値を重視することによりまして、全てのステークスホルダー（お客様、株主、従業員、ビジネスパートナー、行政機関、地域社会等）の利益と発展を念頭に企業活動を展開いたしております。ステークスホルダーから信頼していただくことこそが、弊社の利益と持続的発展につながることでと考えております。

2018年1月～2020年2月フォローアップ活動、取組、成果

ラジオ、セミナーで相場の暴落時に顧客が正しい判断ができるよう情報提供し続けた。

2019年7月とくしまSGDs未来会議に参加することにより企業、大学、一般の方々
と意見交換をすることにより成熟経済での企業と消費者の在り方を議論できた。

⑤消費者、社会の要望を踏まえた改善、開発

(1)環境への取組

平成29年4月22日に徳島県と「とくしまエコパートナー協定」を締結し、カーボンオフセットや地域省エネクレジット活用を推進しております。「環境によいことは経済的合理性がある」の理念のもと金融と環境の融合を進めてまいります。

(2)SDGsへの取組

当社が加盟する日本証券業協会では、国際連合が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）を推進しており、当社においても次のとおり推進してまいりました。

- ・再生可能エネルギーファンドの販売を通じ「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」
- ・クラウドファンディングによる地域活性化を通じ「働きがいも経済成長も」、「住み続けられるまちづくりを」
- ・ESG投資による日本株式の長期投資を通じて「つくる責任つかう責任」
- ・地域省エネクレジット活用を通じ「気候変動に具体的な対策を」
- ・カーボンオフセットの仲介とペーパーレス導入により「陸の豊かさも守ろう」
- ・所属ロータリークラブの世界社会奉仕活動を通じ「すべての人に健康と福祉を」、「質の高い教育をみんなに」、「安全な水とトイレを世界中に」、「人や国の不平等をなくそう」

今後もすべての目標を達成できるよう継続してまいります。

2018年1月～2020年フォローアップ活動、取組、成果

(2)SDGsへの取組

上記カーボンオフセット2556tに加え、地域省エネクレジットの4,4トンの取り扱い実績をつくった。

クラウドファンディングを過去3年間で15件のうち12件成立させ地域に必要な資金を供給させ、持続可能なまちづくりに貢献した。

平成29年4月
徳島大学 OTSUCLE



- 徳島を元気にするクラウドファンディング



平成27年10月グリーンファンディングのサイトのKUUKAIを開設

